

## 地域銀行の令和2年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 実質業務純益は、資金利益の減少はあるが、経費の減少や債券等関係損益の増加等により、前年同期に比べ、4.3%の増益。
- 当期純利益は、株式等関係損益の減少や与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ、10.2%の減益。

（単位：億円）

	H30年3月期	H31年3月期	R2年3月期	前年同期比
業務粗利益	42,707	42,233	42,480	247
資金利益	38,319	37,201	36,172	▲1,029
役務取引等利益	5,297	5,281	5,233	▲48
その他業務利益			1,032	—
うち、債券等関係損益	▲1,213	▲332	832	1,164
経費	▲30,528	▲30,011	▲29,728	283
実質業務純益	12,178	12,221	12,751	530
コア業務純益			11,919	—
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）			11,113	—
与信関係費用(※)	▲1,065	▲3,473	▲3,583	▲110
株式等関係損益	2,751	2,485	749	▲1,736
当期純利益	9,965	7,686	6,901	▲785

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	H30年3月期	H31年3月期	R2年3月期
貸出金（末残）	260.6兆円	269.3兆円	277.7兆円

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は31年3月期に比べ横ばいだが、不良債権比率は低下。

	H30年3月期	H31年3月期	R2年3月期
不良債権額	4.5兆円	4.8兆円	4.8兆円
不良債権比率	1.71%	1.74%	1.70%

### 3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、31年3月期に比べ低下。
- 国内基準行の自己資本比率は、31年3月期に比べ上昇。

（国際統一基準行：11行）

（国内基準行：H31年3月期 94行、R2年3月期 92行）

	H31年3月期	R2年3月期
総自己資本比率	13.84%	13.28%
Tier1比率	13.37%	12.73%
普通株式等Tier1比率	13.37%	12.73%

	H31年3月期	R2年3月期
自己資本比率	9.47%	9.52%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）H30年3月期の集計対象は106行（地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行）

H31年3月期の集計対象は105行（地方銀行64行、第二地方銀行40行及び埼玉りそな銀行）

R2年3月期の集計対象は103行（地方銀行64行、第二地方銀行38行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。